



あのとときの常呂・写真館

VOL 191

(1990年)

平成2年5月27日

第1回ところ日本一ホタテまつり開催

▶ 『常呂漁業協同組合発祥百周年誌』（平成24年7月刊）には、この催しを次のように紹介しています。「日本一の帆立水揚げ量を誇る本組合が、味と品質そしてオホーツクの幸を豊富にとりそろえ、食を楽しみ、食を語り、多くの人びとと交流し、共感し合える機会づくりで行うもの。5月26日の前夜祭は、午後3時30分より漁村センターで〈食談BAY、TOKORO〉が開かれ、漁協婦人部6名の作った帆立料理を三重県志摩観光ホテル高橋料理長を囲んで婦人部員・町民たちが調理における指導を受けた。本祭は27日午前10時に開場。好天に恵まれ町内外から行楽客約2万人が集まり、漁港特設会場では1パック10個入りの帆立の生玉1万パックが売り切れ、急遽2千パックを追加して作ったが注文に応じきれず長蛇の列の途中までとなった。また、ホタテカレー1600食、ホタテ浜焼き1万食は早々と完売となる大盛況となり、特設ステージでは歌謡ショー、ホタテ貝むき大会が、港内では救難所ゴムボートによる〈おたすけ舟選手権〉などのイベントが相次ぎ、午後3時に終了した。帆立生玉販売に婦人部、帆立浜焼きに青年部、港内の水際警備に救難所員の方々の協力を得た」



*写真は、第1回ところ日本一ホタテまつりの本祭り







左：救難所ゴムボートによる〈おたすけ舟選手権〉

右：かき島太鼓の演奏



*写真3枚
5月26日の前夜祭
漁村センターでの〈食談BAY、
TOKORO〉



●「ところ日本一ホタテまつり」は、第1回から第9回（平成10年）まで常呂漁協の主催で行われましたが、平成11年（第10回）からは常呂町を含めた実行委員会に引き継がれました。平成14年の第13回（9月1日予定）と翌15年（6月15日予定）が2年続きの貝毒発生で中止となり、この年の12月に完全廃止を決定。「ところ日本一ホタテまつり」は、平成13年の第12回が最終回となりました。